

丹 佳子 TAN Yoshiko

研究分野：看護学

キーワード：養護教諭、保健室、学校救急処置、判断



研究トピックス：

学校救急処置における養護教諭の思考プロセス —思考プロセスの実態解明と教育方法の検討—

研究の要旨：

養護教諭はけがや体調不良を訴える子どもに対して、必要な情報を収集して緊急度・重症度判断を行い対応を決めます（図1：学校救急処置プロセス）。軽症事例が多い学校現場ですが、時に生じる重症事例にも確実に対応できる力が養護教諭には求められています。的確な対応の根拠となるのが、緊急度・重症度判断です。

しかし、これまでの教育では得た情報を根拠としての確かな判断に結びつけるための「考え方＝思考プロセス」は、教育内容として、ほとんど取り扱ってきませんでした。緊急度・重症度判断においては、収集した情報をいかに短時間で的確に判断に結びつけるかといった「思考プロセス」がとても重要です。そこで、養護教諭の緊急度・重症度判断力を高めるために、「思考プロセス」に着目して、その実態を解明するとともに、効果的な教育方法について明らかにしたいと考えています。

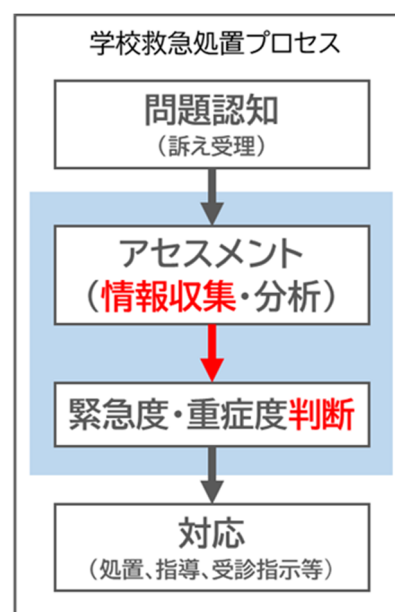


図1 学校救急処置における情報収集から判断に至る養護教諭の思考プロセスを明らかにし、効果的な教育方法を検討しています

主な関連業績：

- ・丹 佳子：養護教諭が行う学校救急処置の特徴をふまえた研修のあり方—重症例を念頭においた緊急度・重症度判断—，学校救急看護研究，13(1)，8-14，2020
- ・丹 佳子，小迫幸恵，田中周平：養護教諭が行う学校救急処置における臨床推論の実態と特徴—困難事例からの分析—，学校保健研究，61(4)，202-211，2019
- ・丹 佳子：重症事例における養護教諭の対応と観察の実態—非緊急対応群と緊急対応群における観察実施率の比較，学校保健研究，58(4)，215-226，2016

[教員紹介へのリンク](#)

[教員データベースへのリンク](#)